

## 日本精機株式会社 様



日本精機株式会社様は、従来より利用していた就業管理システム「タイム・ワークス」のバージョンアップを機に、各社まちまちだったグループ会社の就業管理を統合。システム統合による管理業務の効率化に加え、導入・運用コストの低減を実現しました。



### 企業プロフィール

社名 : 日本精機株式会社  
事業内容 : 四輪車・二輪車用を中心とする各種計器・電子機器類の製造・販売  
資本金 : 14,494百万円  
従業員数 : 11,753名 (連結)  
本社所在地 : 新潟県長岡市

### 国内グループ会社

#### 【製造分野】

エヌエスアドバンテック株式会社  
エヌエスエレクトロニクス株式会社  
NSウエスト株式会社

#### 【サービス分野】

日精サービス株式会社  
日精給食株式会社  
株式会社NS・コンピュータサービス  
株式会社ホンダ四輪販売長岡  
新潟マツダ自動車株式会社  
株式会社マツダモビリティ新潟  
株式会社カーステーション新潟

日本精機株式会社様の主力である、車載計器の製造・販売ビジネスは、急速にグローバル化が進んでいる分野です。この分野でリーディングカンパニーであり続けるには、バックオフィス業務も従来の延長線ではなく、競争に勝ち抜くための新機軸の勤怠システムが必要と考えました。

従来は、国内に10社あるグループ会社が、それぞれ独自の勤怠システムを導入していましたが、ひとつのシステムに統合することで、コスト削減と管理レベルの向上を図ることを目標に設定しました。

そのコンセプトのもとに2009年頃から検討を開始し、本格的な選定作業にも1年ほどかけて、最終的に**タイム・ワークスのシェアードサービス**を選定しました。

現在は、日本精機株式会社様自身に加え、グループ各社への導入も完了。

導入の音頭をとった日本精機株式会社様の満足度はもちろん、関連会社からも「ドラスティックに変わった」という評価を頂いています。



日本精機株式会社の皆様

### 導入前の課題

本システム導入前は、グループ会社各社が、個別にシステムを導入していました。会社によっては、ほとんど手作業というケースもありました。

率直に言って、就業管理は「給与支払のための作業」であり、グループ全体で就業データの活用ができていたとは言い難い状態だったと言えるでしょう。

### 選定のプロセス

今回の勤怠システム導入プロジェクトでは

- ①グループ会社も含めたシステム統合化を行う
- ②日本精機グループの実態に即したシステムとする

ことを前提として、費用対効果を考慮した選定をする、という方針に基づき、グループ各社の既存ベンダーを中心に 10 社近いベンダーから提案を受けたということです。

当初は、就業管理だけでなく、人事給与も統合する方針で検討しましたが、選定は難航し、結局勤怠管理を先行するという方針に転換したといいます。人事労務系の更新がなかなか進まない、という話をお聞きする機会がありますが、日本精機グループ様の考え方も、ひとつの有効な施策でしょう。勤怠管理限定で再スタートした選定プロジェクトですが、各社の提案では、①の要件を満たしていないものもあり、この段階で約半数が脱落。そのほかにも、パッケージ仕様に運用を合わせるような提案をしてきたベンダーもあったといいます。

こういった中、日本精機様本体での既存ベンダーであった、京葉システムは、機能・費用対効果はもちろん、ユーザーの利便性を第一に考えた提案ができたという点、**シェアードサービス形態で運用できる点**を評価頂き、グループ統合システムとして採用いただきました。

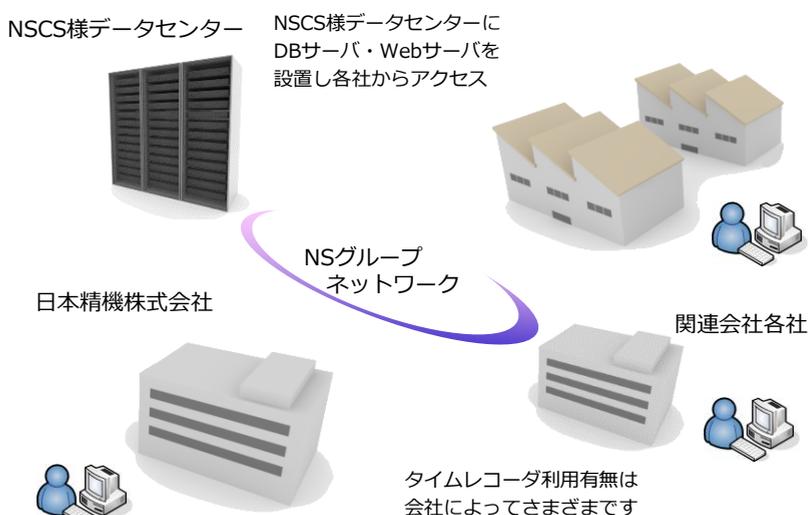
### 選定のポイント

今回の勤怠システム統合では、機能とグループの実態に即したシステムにすることが最重視されました。特に「グループの実態に即したシステム」という点について、日本精機様の要望に沿った提案をしてくれるベンダーが少なかったといいます。

その点、京葉システムの提案は、**利用者の思いに沿った提案**であったと評価いただきました。旧バージョンのユーザーであった日本精機株式会社様からみると、前回の導入時にアドオンで実現した機能や、使っているうちに出てきた要望も、多くが**新バージョンは標準機能でカバー**している点もポイントのひとつという事でした。

また、今回の勤怠システム統合は、プロジェクト主体は日本精機様本体ですが、RFI 作成などを含む選定作業の実務や契約は、NS グループの情報システム部門である「NS・コンピュータサービス株式会社 (NSCS)」様が行っています。

京葉システムの提案は、自社 SE だけでなく、NSCS 様の SE によるグループ会社への導入とそのため教育なども含んでいました。導入後のサポートをグループ内で完結できることに加え、SI 商材としてこの経験を活かせる点もポイントだったのではないのでしょうか。



### 導入の評価と今後に向けて

人事担当役員によれば、現段階のシステムの評価は 75 点ということです。60 点で合格、80 点で実質的な満点という条件での 75 点との評価ですので、システムに対する期待に概ね応えられたとあって良いのではないのでしょうか。

また、グループ各社からも、実務レベルの質問は別として、これといった声はあがっていないといいます。親会社主導で半ば強制的に導入してこの状況は、問題なく運用できている証左でしょう。

また、導入作業を担当した NSCS の SE からは、「データの持ち方と設定の繋がりを理解するのが大変だった」などの意見も出ましたが、ユーザーインターフェースは比較的わかりやすかったとの評価もあり、設定業務を自社で完結できるレベルまで習熟。このノウハウは今後の外販展開のポイントになると評価いただいています。

※ タイム・ワークス®は、京葉システム株式会社の登録商標です。  
 ※ その他のカタログ記載の規格名および製品名は、各社の商標または登録商標です。  
 ※ このカタログに記載された内容および製品の仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。  
 ※ 本資料に記載されたお客様への、直接のお問い合わせはご遠慮ください。